

発行 **大竹辰治事務所**
 日本共産党 区議会控室
 大田区蒲田5-13-14
 電話 5744-1477
 事務所 大田区西蒲田5-9-12
 電話 3735-2611
 自宅 大田区東矢口3-11-19
 電話 3736-4202
 E-mail: tootake@apricot.ocn.ne.jp
 http://www10.ocn.ne.jp/~tootake/

日本共産党大田区議会議員

大竹辰治 ミニレポート



ご意見・ご要望をお寄せください

外部評価で補助金の「縮小・廃止」を狙った見直しは中止を

大田区では、全ての事業を検証・評価をするとして、事務事業外部評価を3年前から行ってきました。事務事業外部評価で区政の透明性の向上と説明責任をあげていますが、たった8人の評価委員によって1事業をわずか1時間程度で5段階評価します。今年度は、事務事業外部評価の対象が補助金の見直しになっていきます。

昨年度は対象の24事業のうち「拡充」が委員の半数以上を占め

たのは2事業で、「廃止」「縮小」は9事業もありました。それを受けて区の対応として今年度予算で、区民に親しまれてきた住宅修築資金、母子栄養食品、福祉電話、準福祉電話などが廃止となり、高齢者・障害者・ひとり親家庭の住み替え家賃助成が縮小となりました。

公開審査の傍聴を

今年度の日程(表参照)が出さ

日程	時刻	対象事業	場所
9月9日(日)	14:00~	商店街活性化推進事業	区役所11階 第5委員会室
	13:00~	商店街再生支援事業	
8月25日(土)	15:00~	新製品・新技術開発支援事業	区役所11階 第4委員会室
	14:00~	老人クラブ運営助成	
	13:00~	ひとり暮らし高齢者支援事業	
	14:00~	奨学金(高校生・大学生向け)	
8月5日(日)	14:10~	消費者への情報提供・支援	
	13:00~	指定保養施設	
7月22日(日)	16:25~	館山さざなみ学校	
	15:20~	大田区教育研究会補助	
	14:10~	青少年団体育成	
	13:00~	地球温暖化対策の推進	

れ、補助金事業を中心に12事業について公開審査を行います。事務事業の検証・評価をして、結果にもとづいて改善を行うとしています。が、区民の声は反映されていません。日本共産党大田区議団は、「削減先にあるべき」の事務事業外部評価の中止を求めています。

先の第2回定例会(6月6日~15日)での区長答弁

【党議員団質問】

「縮小・廃止」を狙った補助金の見直しはやめるべきです。お答えください。

【松原区長】

公益性の高い特定の事業や活動を支援することを目的に導入している。そのような中で、導入当初の目的が達成されたものや時代の変化にともない必要性が薄れてきた補助金等を見極めながら、縮小や廃止などの見直しを行うことは、必要と考えております。

法律相談

顧問弁護士による法律相談です。
 お気軽にご利用ください(毎月第2水曜日)

8月8日(水)

午後1時~3時

場所 大竹辰治事務所(西蒲田大城通り)

事前にお電話ください TEL3735-2611

党議員団が区政報告会



6月28日消費者生活センターで、党区議団主催の区政報告会が行われ、臨時会・第2回定例会の報告がされました。

臨時会で、党議員団から委員長・副委員長が選出されたこと。第2回定例会で、5億円の補正予算が決まり、くらしや防災対策が前進したことや、「東京電力値上げの見直しを求める意見書」が出されたことが報告されました。参加者から、意見要望が出されました。

怒りの国民集会に 2万4000人

6月23日、明治公園で「いのちと暮らしを守れ！怒りの国民大集

会」が開かれ、全国から2万4000人が集まりました。

民自公3党が、消費税増税法案などを26日にも強行可決して、衆議院を通過させようとする緊迫した状況で開かれました。集会のあと、3コースに分かれて都内をデモ行進しました。大竹区議も渋谷区役所前までの2・5キロをデモ行進しました。

蒲田駅東西通路に 自転車用スロープを

先日、JR線路下蒲田駅東口交番横の東西を結ぶ蒲田通路を歩いていたら、わずか5分ぐらいの間に2人が自転車を持って階段を上って行きました（写真）。

この蒲田通路に、かつて自転車を利用できるスロープの設置が予算化されましたが、JRの土地であることからJRとの合意が得られず、自転車が利用できるスロープの設置ができなかったと聞いています。

しかし、多摩堤通り歩道の蒲田東西を結ぶ階段には、自転車



親善訪問は中止を

今年も親善訪問調査の各会派意向調査が行われ、7月5日の幹事長会に出されました。

調査票には、友好都市のアメリカ・セラム市とその他の都市へ行くに当たって、調査先・課題、実施時期、日数、参加希望の有無を調査します。日本共産党大田区議団は、区議会議員の親善訪問調査の中止を求めました。

区民の利便性の向上からも、早期に蒲田通路に、自転車を利用できるスロープの設置をするよう求める声が上がっており、どのように運動をすすめていこうかと地域で問題となっています。

現在、蒲田駅周辺のグラウンドデザインがすすめられ、特に蒲田東西口の通路を増やすことが課題となっています。蒲田駅周辺のグラウンドデザインは、現在住民との合意に向かって説明会やまちづくり協議会の設置などすすめられています。この先どのくらいの時間がかかるか分かりません。

